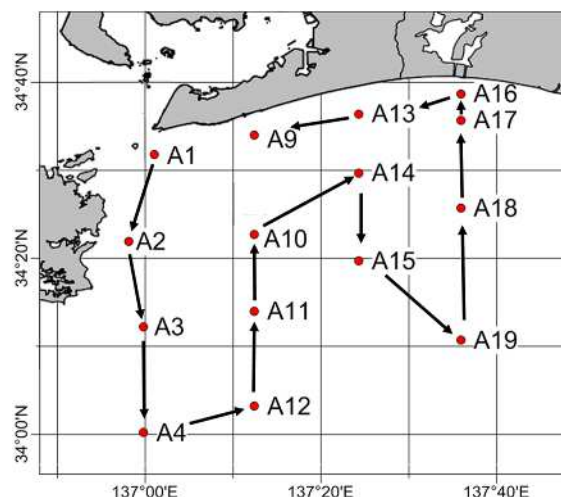


令和2年7月14日

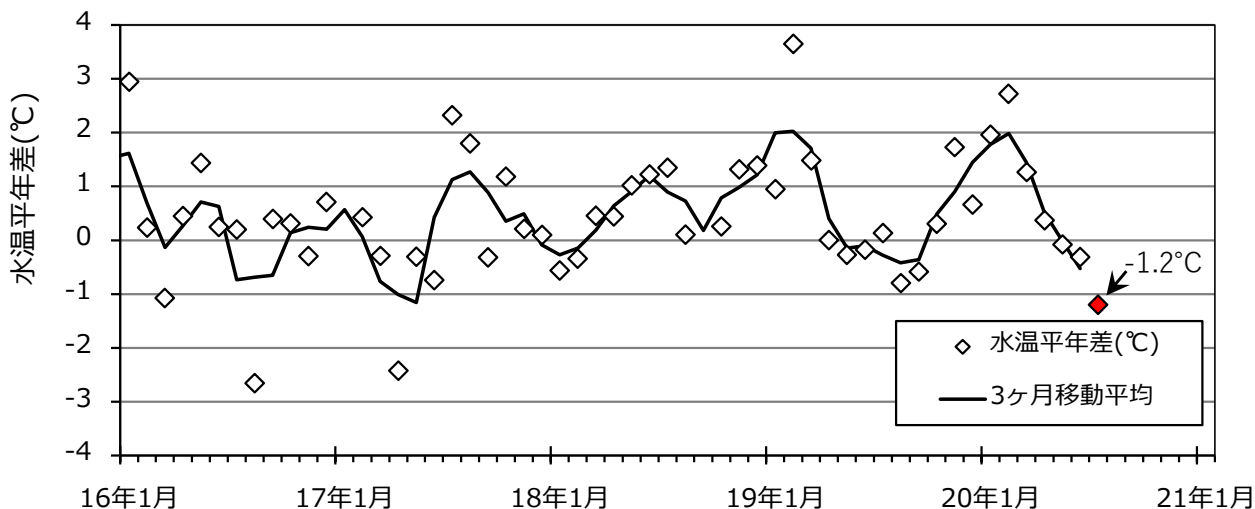
【水温の変動】

7月9、10日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部ではやや低め、沖合域では平年差+2.8℃で極めて高めでした。

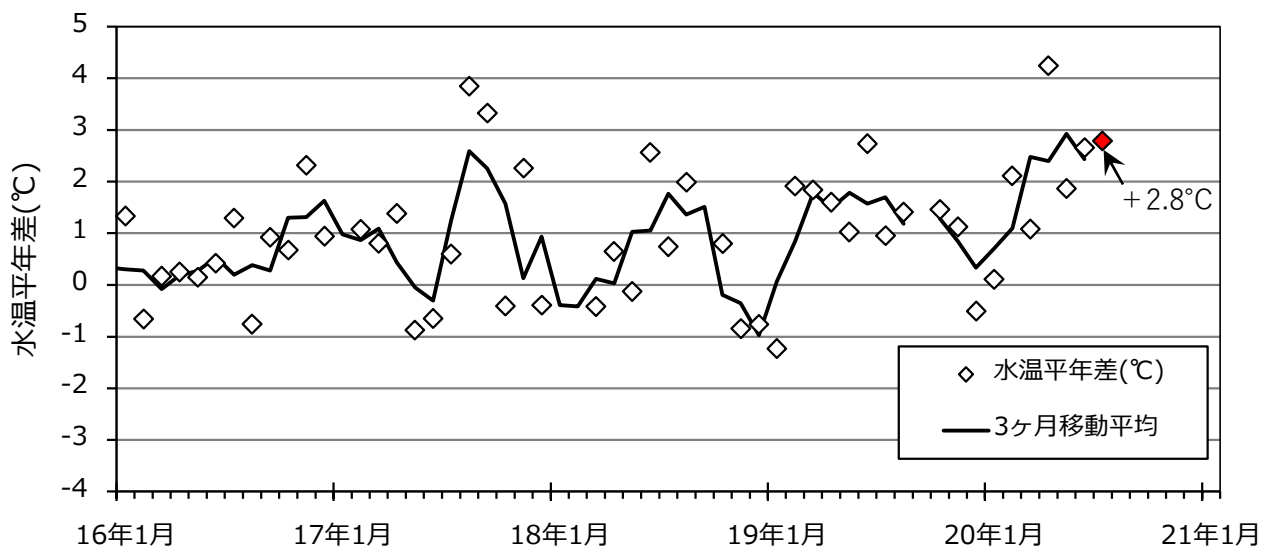
衛星画像によると、黒潮は潮岬沖で大きく離岸し、北緯30度付近まで南下した後、遠州灘沖をS字状に北上して沿岸部を房総半島沖に流れています。また、渥美外海を含む熊野灘から房総沖にかけての沿岸には23℃以下の冷水が分布しています。



湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 22.8~25.9℃、水深 100m で 15.5~18.4℃、200m で 13.3~14.8℃ となっていました。水温は沿岸域で低く、黒潮の影響の強い沖合域で高くなっています。

水温の鉛直断面図を見ると、特に A15 から沖合の水深 100m 以深は水温の等温線が右下がりとなっており、黒潮の影響で東向きの強い流れとなっています。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度の鉛直断面図

